

ふくし

題字/日展会友 井野吟紅氏

3月23日、小規模多機能型居宅介護事業所オリーブの利用者さん3名が中央保育園を訪れ、卒園記念のプレゼントを子どもたちへ渡しました。4月に小学生になった子どもたち。入園の時からはずいぶんと成長し、とても頼もしいお兄ちゃん、お姉ちゃんになりました。ご卒園、そしてご入学、おめでとうございます。

高浜市社会福祉協議会事業計画

7つの 重点目標

- 1 高齢者・障がい者・子どもを含む包括的な支援をします
- 2 日常生活における困りごとへの対応力を強化します
- 3 ボランティア活動を推進します
- 4 子育て支援事業を推進します
- 5 障がい者の地域生活を支援します
- 6 高齢者への在宅福祉サービスを充実します
- 7 法人内連携の強化・人材を育成します

1 高齢者・障がい者・子どもを含む包括的な支援をします

◆住み慣れた高浜で安心して暮らしていけるまちづくり

高浜市において、地域特性に応じた「たかはま版地域包括ケアシステム」の構築が進められています。そこで本会では、高齢者、障がい者、子どもを始めとする全ての人が、住み慣れた高浜で安心して暮らしていけるまちづくりの推進において、その一端を担えるよう努めて参ります。

●今年度の主な取り組み

本会では、高齢者、障がい者、子どもに対するさまざまな支援事業を活かし、更なる拡充として、子どもから高齢者まで誰もが利用可能な地域共生型福祉施設の設置、運営を進めて参ります。

地域共生型福祉施設は、認知症高齢者やその家族を高齢者、障がい者、子どもを含む地域の方などと一緒に支えていく施設であり、地域交流スペースを中心とする様々な交流の中での相乗効果を期待しています。

さらに、個人だけでは抱えきれない課題や、制度の狭間のニーズを、地域の課題として取り上げ、町内会を始め、まちづくり協議会や民生委員などの地域で活動されている方々とともに解決していく「安心生活応援プラン事業」を進めて参ります。

2 日常生活における困りごとへの対応力を強化します

◆「生活困窮者自立相談支援事業」、「権利擁護支援センター事業」

高浜市より平成27年度から受託しているこれらの事業では、窓口にいच्छる生活に課題を抱えた相談者に対し、関係機関等と連携しながら、相談者が日常生活を自らの力で維持できるようにするための支援や、相談者の尊厳や人権が侵されることのない支援を進めています。

●今年度の主な取り組み

福祉の総合相談窓口である「いきいき広場」の機能の一つとして、役割をしっかりと果たして参ります。そのために、課題を抱える方々の情報を集約し、支援にしっかりとつなぐことができるよう、行政、各種関係機関、地域の各種団体と協議の場などを通じて連携強化を図ります。また、支援を円滑にするために、研修や外部実習などにより職員力の強化に努めます。

3 ボランティア活動を推進します

◆ボランティアセンター

「ボランティアひろばセンター てとてとて」（ボラセン）では、ボランティアをしたい方としてほしい方を「つなぐ」役割をしています。また、ボランティアを始めたい方に、活動のきっかけとなる研修

会や講習会を開催しています。
他にも、活動中の事故等を補償するためのボランティア保険の手続も行ってあります。

●今年度の主な取り組み

碧海5市の社会福祉協議会と協働で災害ボランティアコーディネーター*を育成し、近隣市の災害ボランティアセンターを互いに助け合える体制を築くため、災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。また、災害時に災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう、受講生や関係機関との連絡調整や情報交換ができる体制づくりに努めて参ります。

ボランティア活動を通じて、地域住民同士の助けあい、支えあい活動が広がるよう、ボランティア養成・研修においても、ボランティア活動に対する知識や技術の向上だけでなく、日常の暮らしに役立ち、地域の見守り支えあいにも結びつく内容を企画して参ります。

※被災地でボランティア活動を支援する人

4 子育て支援事業を推進します

◆市内7ヶ所の子育て支援施設を運営しています。

本会では、高浜南部保育園、中央保育園、中央児童センター、中央児童クラブ、家庭的保育事業、託児所、心身障害児福祉施設みどり学園と幅広い子育て支援事業を行っています。

●今年度の主な取り組み

本年度は、高浜市のこども発達センターを日本福祉大学より引継ぎ受託しました。さらに、地域共生型福祉施設内に子育て支援センターを設置します。子育て支援センターでは、子育て中の不安や悩みの相談ができ、他の親子と交流の機会をつくり、子育てに楽しく向き合えるようにサポートに努めます。そして、地域の方々となじみの関係を築き、南部保育園と連携して地域の子育てを応援して参ります。

また、こども発達センター等各種関係機関との連携を図り、安心して子育てができる環境整備に努めるとともに、地域活動に積極的に関わり、地域と子どもとがつながるきっかけを創出して参ります。

5 障がい者の地域生活を支援します

◆障害者相談支援事業所

本会の障害者相談支援事業所では、「働く」と「暮らす」を一体的に支援することで、障がいのある人の「働く」を通して安心して生活できるまちづくりを高浜市とともに継続して進めて参ります。

●今年度の主な取り組み

本会が運営する、子どもから高齢者にいたる福祉サービスを提供する事業所において、平成27年度より引き続き、障がい者を直接雇用していけるよう取組んで参ります。障がい者が働きやすい職場は、誰もが働きやすい職場であると同時に、地域共生社会づくりにもつながります。

本会がそのモデルとなるよう努めて参ります。

6 高齢者への在宅福祉サービスを充実します

◆在宅福祉サービスの需要増加

介護保険制度の改正により、平成29年度末までに予防給付のうち、訪問介護・通所介護が市町村の実情に応じた取り組みへと移行され、今後ますます在宅福祉サービスの需要は高まってきます。

●今年度の主な取り組み

本会は、子どもから高齢者、障がい者も含め、誰もがともにいきいきと暮らせる施設として地域共生型福祉施設を整備しています。認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で在宅と同じように暮ら

せるよう認知症高齢者のグループホームの運営を行って参ります。

さらに、閉じこもり防止、自立支援、心身の活性化を目的とし、地域の方が楽しみをもって介護予防ができる通いの場となるよう努めて参ります。

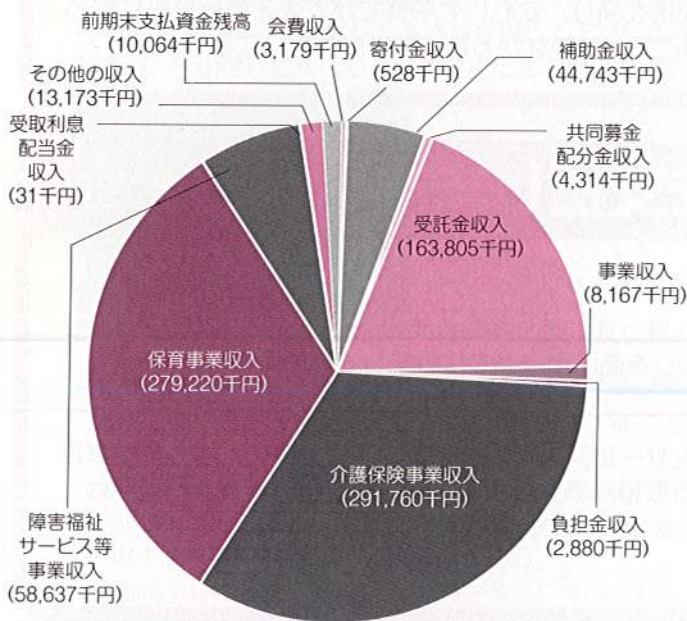
7 法人内の連携の強化と人材を育成します

高浜市地域福祉計画の改定にあわせ、本会の役割も明確になって参ります。そこで本会は、地域福祉計画に掲げられる取り組みを確実に進めていくために、事業運営・経営のビジョンや目標を明確にし、その実現に向けた組織、事業、財務、人材育成等に関する具体的な取り組みを示す中期的な計画（第2次高浜市社会福祉協議会発展・強化計画）を策定します。

また、法人規模が大きくなってきていることから、法人事業所間での情報共有や連携がますます重要となります。本会内の事業所の位置づけを再認識し、本会の使命を組織全体、全職員で取り組めるよう体制整備に努めて参ります。

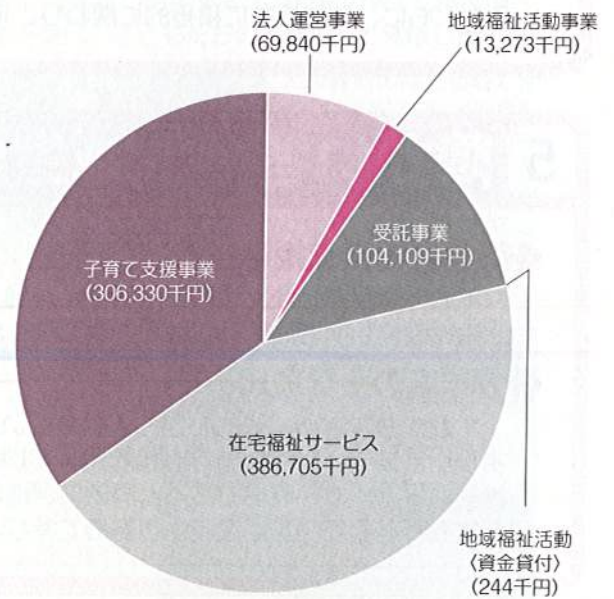
平成28年度 一般会計予算

収入



880,501千円

支出



880,501千円

平成28年度 高浜市社会福祉協議会

会員募集

社協は会員の皆さまの温かい心に支えられています。

■社協会員とは？

社協とは、社会福祉法に「地域福祉の推進」を目的とする団体として位置づけられ、地域の皆さまとともに「安心して暮らし続けられるたかはま」の実現を目指しています。
会員の皆様には、会費の納入を通じて、社協の事業をはじめ、さまざまな地域福祉活動を支えていただいています。



会費の種類
と
金額(年間)

一般会員

(市内の居住者)

1口 **300円**

特別会員

(特に関心、熱意ある方)

1口 **1,000円**

法人会員

(企業・団体・事業所)

1口 **2,000円**

■会費の使いみちは？

心配ごと相談事業や各種団体助成などを通して、地域福祉の推進に取り組んでいます。

例えば

《心配ごと相談》

弁護士による30分の無料法律相談
原則毎月第1・第3木曜日 13時～15時45分
※暦によって変更の場合があります。
※予約制ですので、下記へお問い合わせ下さい。



《各種団体助成の一例》

「園児と高齢者とのふれあい事業」

市内幼稚園児と高齢者が、手遊びや野菜の収穫などを一緒に体験し、園児には高齢者を敬う心を育て、また高齢者には穏やかで楽しい1日を過ごしていただきます。
児童と高齢者の両面から、地域福祉の向上を目的として助成しています。



問合せ先／高浜市社会福祉協議会事務局 電話：0566-52-2002

地域共生型福祉施設

くつろぎと希望の鳥
あっぼちゃん



あっぼ



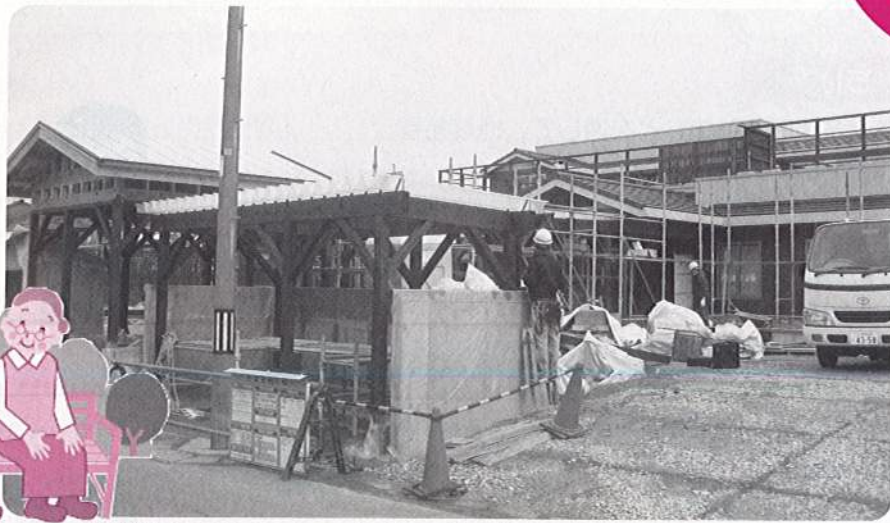
5月21日(土) 13時~16時

5月22日(日) 9時~16時

内覧会を開催します!

どなたでもご自由にお越し下さい。

6月1日
(水曜日)
オープン!!



【外観】6月1日のオープンに向けて着々と工事が進んでいます。



◀【グループホーム キッチン】

火災にならないようにIHコンロが取り付けられます。

食事作りは、入居者さんと私たち職員と一緒にメニューを決めて、楽しく作って楽しく食べます。

【2Fテラスから見た中庭】▶

中庭には、足湯と囲炉裏の部屋があります。皆さんと一緒に中庭を見ながら足湯に入って、癒されませんか。また囲炉裏を囲んで、皆さんとおしゃべりしませんか。隣近所誘い合って、ぜひ遊びに来て下さい。



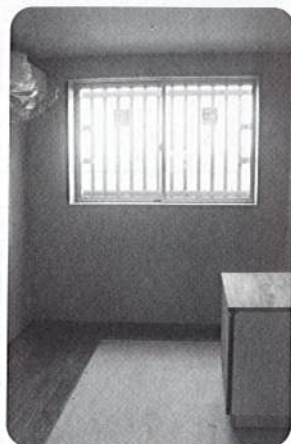


◀ 【2F テラス】

とても広く、晴れた日は日光浴に最適な場所です。
子育て支援センターの子どもたちが遊んでいるかわいい姿が見えますよ。

【グループホーム 居室】▶

すべて洗面所付きです。朝の身だしなみもお部屋でゆっくりとできます。畳部分は汚れても洗えるので、いつでも清潔に過ごせます。布団でもベッドでもこれまでの生活スタイルに合わせて使用できます。



◀ 【ベンチ】

廊下には、いろいろなところにベンチがあります。おしゃべりをしたり、腰を下ろして一休みしませんか。



通所型デイサービス・
ふれあいサロン担当
新田久美子

力を合わせて
がんばります!!

グループホーム担当
中野美穂



グループホーム担当
浦島美津子

認知症があってもなくても、障がいがあってもなくても、子どもでも大人でもみんなが気軽に集える場所、地域に愛される施設になるよう、頑張ります!!

■オープニングスタッフ大募集中!!

新しい施設に魅力を感じた方、私たちと一緒に楽しく働きませんか？
安心して働けるよう丁寧にご指導します。
土日祝に働ける方、大歓迎!

【早番】6時～ 【日勤】8時～ 【遅番】16時～ 【夜勤】21時～翌朝6時

■認知症グループホーム、通所型サービス利用者も大募集中!!

青空市
お知らせ

6月5日(日)から、高浜南部保育園→あっぽへ場所が変わります!!
当日は、通常9時～11時のところ、1時間延長して12時まで開催します。
皆さん、ぜひお越し下さい♪

6月5日
(日曜日)
イベント開催!

問合せ先/高浜市社会福祉協議会 事務局(担当:新田) 電話:0566-52-2002

みんなで権利擁護を考えよう!

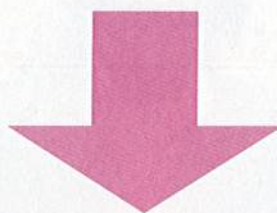
「障がい者と権利擁護」

障がいがある人ってどんな人

障がい者や健常者という言葉を使う人が多いですが、言葉の意味の違いは障がいがあるか、ないかです。障がいのある人でも常に「障がい者である」わけではなく、「障がいの影響がない」事もあります。それでも「障がいがある」というだけで不利な状況に置かれやすい立場にいます。

障がい者を取り巻く流れ

日本における障がい者を取り巻く近年の流れは、平成17年に制定された「障害者自立支援法」が、平成24年に「障害者総合支援法」に改正・改題されました。これは、障がいの有無にかかわらず、国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的とし、障がい者・障がい児が、基本的人権を享有する個人として尊厳ある生活を営めるよう、必要な障がい福祉サービスの給付や、地域生活支援事業などの支援を総合的に行うことを定めた法律です。



そして、平成28年4月1日から新たに「障害者差別解消法」が施行されました。

障害者差別解消法とは

障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、国の行政機関、地方公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めることによって、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的としています。

- ① 国の行政機関や地方公共団体及び民間事業所による「障害を理由とする差別」を禁止すること
- ② 差別を解消するための取組について政府全体の方針を示す「基本方針」を作成すること
- ③ 行政機関等ごと、分野ごとに障害を理由とする差別の具体的内容等を示す「対応要領」・「対応指針」を作成すること

主にこれらのことを定めています。

(「内閣府HP」より抜粋のため、障害と明記)

次回はさらに詳しく『障害者差別解消法』をお伝えする予定です。

3月17日(木)

権利擁護フォーラムを開催しました

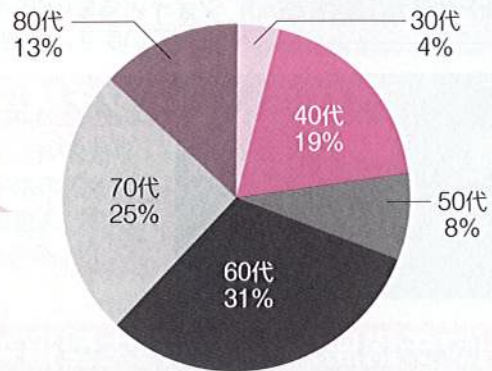
障がいのある方の親族から、「成年後見制度について知りたい。」との相談があったことをきっかけに、フォーラムでは成年後見制度を理解する機会として、実際に後見人として活動されている弁護士・司法書士・社会福祉士による活動紹介や座談会を行いました。

参加者

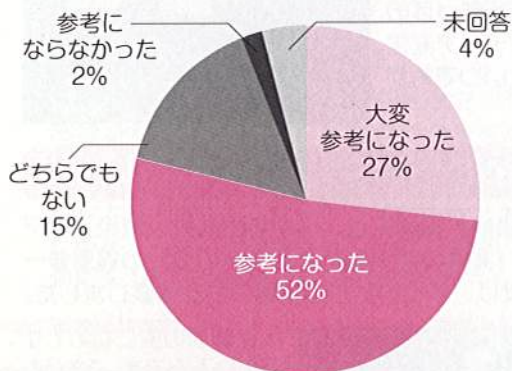
参加者の中には、民生委員やまちづくり協議会など地域の見守り活動を担っている方もいらっしゃいました。

特に、参加者の年齢層から平日にも関わらず30代以下、40代、50代の就労をしている世代の方の出席が全体の約3割と関心の高さが伺えました。

【年齢層内訳】



【専門職による活動紹介】



活動紹介

弁護士・司法書士・社会福祉士の各専門職による後見人の活動紹介では、参加者から「それぞれの職種の視点から具体的な話が聞けてわかりやすかった。」「今後必ず必要になる制度だと思った。」「対象者の親族として「自分が動けるうちにしておきたいことがたくさんあると感じた。」、他にも「後見人さんの人間味が感じられた。」などの感想をいただきました。

座談会

「座談会」では、後見人として対象者の見守りの体制や、後見人として受任するタイミングのほか、対象者の財産をどのように対象者のために使用するのかをより具体的に話していただきました。

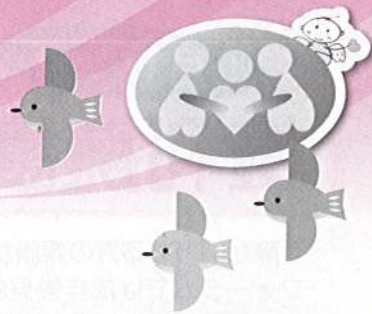
障がいのある方の権利を護る社会資源は知られておらず、フォーラムで成年後見制度を権利擁護の一つとして知っていただくと共に、参加された多くの方が権利擁護の必要性を感じられたようでした。



センター職員 の つぶやき

今回のフォーラムを通して、地域の支援者と当事者の方とを繋げ、後見人だけでなく皆で権利擁護の支援ができる仕組みづくりが大切だと感じました。フォーラムにお越しいただきました皆様、誠にありがとうございました。

ボランティアひろばセンター てとてとて



ボランティア 井戸端会議報告

平成28年2月27日(土)開催

今年で6回目の「ボランティア井戸端会議」は、ボランティア同士の情報交換やボランティア活動の想いを共有することで、ボランティア活動の資質向上を目的に年1回開催しています。今回は、31名の方にご参加いただきました。



【プチ講座】①介護保険はどう変わる?!

平成27年に介護保険制度が改正となりました。そこで分かりにくい介護保険制度改正のポイントについて、市役所 介護保険・障がいグループの西口尚志さんより、介護保険制度改正のポイントについて教えて頂きました。

【プチ講座】②地域共生型福祉施設あっぽの紹介

社協の職員からは、田戸町に新しくオープンする地域共生型福祉施設あっぽの説明をしました。新しい施設で一緒に働いて下さるさまざまなボランティアをまだまだ募集しております。ボランティアの応募や介護についてなど、いつでも何でもお気軽にご相談下さい!



【発表・体験】子どもに学ぶ!高浜のボランティア

今回は、防災をテーマに活動している『子ども防災リーダー養成講座』受講生と、『中学生防災・減災アカデミー』受講生から子どもたち8名が参加して下さいました。また、『高浜の防災を考える市民の会』の福島伸一郎さん、永山茂行さんにもご参加いただき、AEDの使い方の説明を受け、子どもたちの指導のもと体験しました。



東日本大震災の「釜石の奇跡」のお話が印象的でした。子どもたちの日ごろの訓練が実を結んだだけで、奇跡ではなかった。備えあれば憂いなし!日々心がけたいですね。



人命救助の際に初めて使うのは不安です。こちらは何度も練習をすることがとても大切です。まだ触ったことがない方は、機会があればぜひ参加して下さい。子どもたちがとても心強く、また頼もしく感じました。

◆要約筆記

今回、要約筆記MiMiさんによるパソコン字幕がありました。事前にいろいろな準備や予習を重ね、当日を迎えられました。

「要約筆記を知らない」、「聞いたことはあるけど見たことはない」、という方にも、目から入ってくる情報がとても分かりやすいということを実感していただけたのではないのでしょうか。

活動について興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、ボランティアひろばセンターてとてまでご連絡ください。



ボランティア活動保険への加入・更新について

～もうお手続きはお済みですか?～

ボランティア活動中の事故などを補償する平成27年度加入分ボランティア活動保険の補償期間が、平成28年3月31日をもって終了しました。

活動の“お守り”として、安心・安全に活動を続けていただくためにぜひご加入をご検討ください。

高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンターてとてとて

電話：52-9882 FAX：52-4100 メール：tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

ちいきふくしをフォトレポート



高浜高校 総合学習 ～タカコウタイム～ ～宅老所いっぶくで実習をおこないました～

高浜高校普通科の1年生20名が、総合的な学習の時間（タカコウタイム）の中で、高齢者と一緒楽しめるレクリエーションを考え、実践するプログラムに取り組んでいます。

そして、今年度最後の宅老所いっぶくでのプログラムが2月18日に行われました。

前回利用者さんに好評だったハンドベルの演奏。生徒さんたちがアイデアを出し合って考えてくれた間違い探しゲームや、紙コップの積み上げ対決をし、みんなで大いに盛り上がりました。

最後は、生徒さんたちから歌をプレゼントされ、利用者さんは終始笑顔でとても楽しい1日を過ごされたと思います。高浜高校の生徒さん、ありがとうございました。



ハンドベルの演奏。
きれいな音色ですね。



間違い探しゲーム。
考えることで頭を使います！



紙コップの積み上げ。
指の体操になりますね

キッチン☆なんぶ 2月8日(金)10回目開催しました!!

☆メニュー☆

巻寿司、いなり寿司、もずくのお吸い物、白菜の胡麻和え、いちご大福

今回のメニューは、ひな祭りのお寿司を作りました。お子様も酢飯をうちわで扇いだり、いちご大福のあんこを丸めたりしてくれました。

レシピの分量に捉われず、長年の感覚と技術を参加者さんたちに伝授してもらえるのがキッチン☆なんぶの特徴です。

次回は、6月10日(金)を予定しております。

お気軽に社会福祉協議会までお申込みください。



高浜市社会福祉協議会 電話：0566-52-2002

今回のレシピは...
キッチン☆なんぶ
です。

宅老所 今日の献立 vol.19

季節のメニュー 巻き寿司

材料(4本分) 酢飯...おおよそ3合で4本分 海苔...4枚
きゅうり1本 かんぴょう8g 人参縦割り半分 干し椎茸5枚 卵3個

- <下準備>
- ・干し椎茸 水に戻しておく。戻し汁100ccに石づきをとった椎茸を鍋に入れ弱火にかける。砂糖大さじ3で甘さを含ませ、柔らかくなったら醤油大さじ2で煮詰める。
 - ・かんぴょう サツと水洗いをして、少々の塩でもみ、もみながら水で塩を洗い流して、絞る。それを5分程ゆでて湯を捨てる。200ccの水と砂糖大さじ3、醤油大さじ2、みりん少々で煮詰める。
 - ・卵 砂糖大さじ2、みりん大さじ1、塩少々で厚焼き卵を焼き、長く切っておく。
 - ・人参 4本に切り分けてゆでておく。

- <作り方>
- ①巻きすの上にラップを敷き、のりをのせる。
 - ②奥側2cm残して酢飯を広げる。手前2cmくらいから、具材を並べ、巻きすを持ち上げて具を押さえながらまく。
 - ③酢で湿らせた包丁で切り分ける。(酢で湿らせたキッチンペーパーで包丁をこまめに拭くと寿司の切り口がキレイになる。)
- ☆押切にするとご飯がつぶれてしまうので、包丁を大きく動かしながら切るのがポイント



お花見へ行きました♪

4月2日、宅老所「じい&ばあ」の利用者さんとボランティアさんが大山公園へお花見に行きました。ボランティアさんたちが用意してくださったお弁当を持参し、桜の下でいただきました。天気が心配されましたが、当日はとても暖かく、1年に1度の満開の桜を皆さん楽しめました。



○結果
優勝 のりのりF
準優勝 翼豊神会B
3位 二池クラブA
沢渡会2

白熱 第2回たかはま ボッチャ大会

障がいのある方、おとしより、子ども、だれでも楽しめるスポーツ「ボッチャ」の第2回たかはま大会が1月16日に開催されました。この日も、25チーム約80名の方が参加し、肌寒い日にもかかわらず、会場は熱気と興奮の渦でひとつになりました。試合で、好プレーがみられると対戦相手も含め、賞賛の声があがり、お互いのプレーについて感想を言い合う様子がみられ、「つながりの輪」が生まれていました。今年度は、11月23日(水)に開催予定です。皆さん、ぜひご参加ください。ボッチャについて詳しく知りたい場合は社協まで。



高浜市
社会福祉協議会の
ホームページが
リニューアル
しました!!

<http://www.takahama-shakyo.or.jp/>
ご覧ください!!



社会福祉法人
高浜市社会福祉協議会

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
いらいき広場3階
電話：(0566)52-2002
FAX：(0566)52-4100
info@takahama-shakyo.or.jp

HOME | 社協とは | 事業のご案内 | 交通のご案内 | リンク

地域の
福祉

高齢者
福祉

障がい者
福祉

子どもたちの
福祉

生活支援
その他

ボランティア
センター

共同募金

お問合せ


お知らせ

28/3/23	グループホームあつげ、通所型サービスあつげの利用者を募集しています。
28/3/18	2016年度ニュース配信 高輪社会福祉会のご案内
28/3/9	ジュニア市民協働隊への募集を募集しています!
28/2/1	高浜市社会福祉協議会がより「よく」88号(28年2月1日)
28/2/1	高浜市社会福祉協議会のホームページをリニューアルしました!
28/1/5	施設員生協賛社贈答「あつげ」6月号オープン予定!

善意を
ありがとう
ございました

石川藤夫、神谷康乃、栗原一幸、コカ・コーライーストジャパン株式会社、澤田和子、株式会社サンスタッフ、第一生命労働組合豊田営業職支部、高桑雄司、西三河郵便局長夫人会「あおい会」、二八会(旧 合同たつみ会)、平野しげ子(50音順、敬称略)

広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤
い羽根共同募金配
分金を受けて発行
しています。



編集
発行

社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
TEL：0566-52-2002 FAX：0566-52-4100
E-mail：info@takahama-shakyo.or.jp